

21年度 予算を可決



緊急経済対策を重点質疑

Q&A 緊急経済対策についての主な質疑(要約)

Q 道路工事については、不況対策・地域活性化のため、地元業者優先で行えないのか。

A 建設課長 緊急を要する補修工事については、町内の業者に発注をしていきたい。

Q 住宅リフォームの助成事業が復活し、500万円計上されているが、14年度当時との相違は。

A 産業振興課長 今回は不況対策、雇用対策が目的である。町内の業者に限定し、最高10万円で、補助率は5%から10%に引き上げた。なお、新たに玄関から道路に至るまでのバリアフリー対応型改修工事なども含めた。



新たに対象となるバリアフリー対応型改修工事

Q 財政が厳しい状況にあるが、産業振興に関する予算は確保したのか。

A 企画財政部長 前年度比で農業関係約5.5%、商工関係約40%増額した。

各会計の予算額

会計名	予算額	前年度比
一般会計	129億2,070万0,000円	2.1%増
国民健康保険	35億6,094万4,000円	7.4%増
駅西土地区画整理事業	5億8,423万4,000円	29.3%減
下水道事業	11億6,286万9,000円	9.1%増
老人保健医療	430万2,000円	97.8%減
介護保険	14億6,112万8,000円	7.8%増
後期高齢者医療	3億9,775万0,000円	6.7%増
殿ヶ谷財産区	580万6,000円	71.4%減
石畑財産区	2,179万7,000円	57.4%増
箱根ヶ崎財産区	746万8,000円	11.8%増
長岡財産区	66万7,000円	54.4%増

町長から提出された主な21年度事業

一新規事業一

- 防犯パトロール委託
- 妊婦健康診査受診回数増・里帰り等妊婦健康診査受診費助成
- 中小企業信用保証料補助
- 小・中学校学力向上事業 (学習サポーターの配置・IT機器等の整備)
- 瑞穂ブランド特産品および優良企業誘致調査研究委託

一建設事業一

- 長岡地域施設実施設計
- (仮称) 心身障害者授産施設新築工事
- 福祉会館改修工事
- 都市計画道路3・5・24号線用地取得
- 二小、四小の耐震補強工事、五小の耐震補強工事の設計
- 国体施設整備の設計



予算特別委員会での審査の様子

今回の議会には、平成21年度一般会計・各特別会計の予算が町長から提案されました。議会では、直ちに予算特別委員会を設置し、委員長に小川龍美議員、副委員長に高水永雄議員を選出。尾作議長を除く17名により、3日間にわたって審査を行い、議員からは延べ283件の質疑がありました。

一般会計予算は前年度比で2.1%の増となっておりますが、税金や交付金などの減収を、基金の取り崩しと臨時財政対策債で補う大変厳しい内容となっております。委員会審査では、特に町の緊急経済対策について、多くの議員から質疑がありました。審査後、本会議において、一般会計を賛成多数で(討論の要旨については下記参照)、また、各特別会計については全会一致で可決しました。

各議員の賛否は7ページに記載

反対 大坪 国広 議員

年金・医療・介護不安、税金や保険料の負担増で苦しむ高齢者に、介護保険利用料の町独自の軽減策を実施すべき。また、少子化克服のために、待機児対策では、保育園を建設することが第一の解決策。中学3年生までの医療費の通院1回200円の助成と所得制限撤廃を実施するべき。栗原地区の区画整理は、八高線の複線化や新駅構想の見直しも不明確で再検討すべきである。

21年度予算は、前年度比で2億7,000万円の増となっているが、基金の取り崩しや地方債の発行で補うなど、厳しい財政運営を余儀なくされている。歳出では、長期総合計画に沿った、基盤整備、安全・安心なまちづくり、福祉施策など、きめ細かな配慮と重点事業に効率的・効果的な財政配分を行い、健全財政を維持しつつ、町民満足度の向上を図る内容となっている。

高水 永雄 議員 **賛成**

平成21年第1回定例会は3月4日から24日まで、会期21日間で開催されました。今回の定例会では、平成21年度予算、「瑞穂町図書館協議会条例」など、合わせて31件の町長提出議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。